

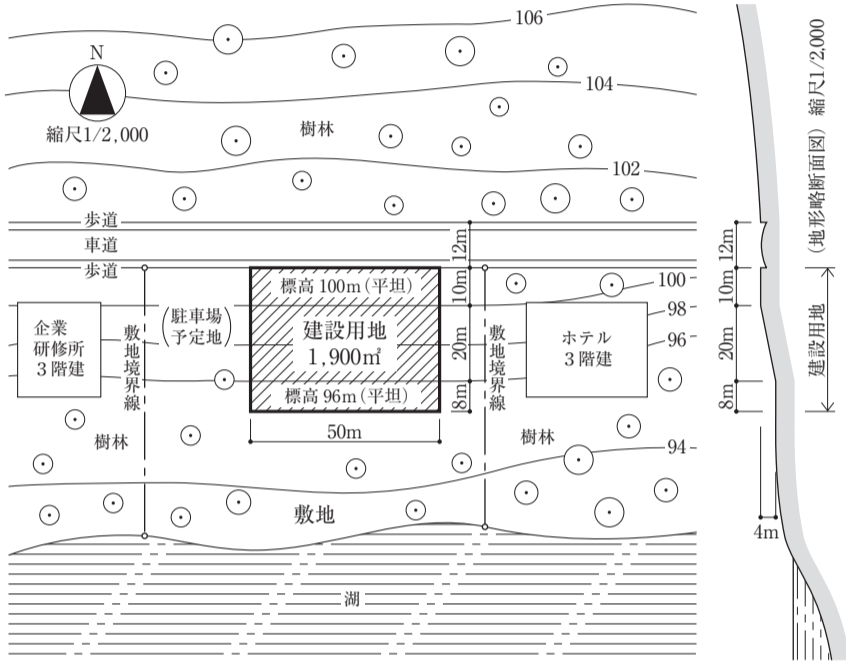
設計課題 小規模リゾートホテル

I. 設計条件

この課題は、湖畔の斜面地に建つリゾートホテルを計画するものである。
 本施設は、「車いす使用者用客室」を設けることや、一般客室において、高齢者や車いす使用者が円滑に利用できるような配慮することが求められている。
 また、計画に当たっては、環境負荷低減のため、自然エネルギーを利用し、快適な室内環境が得られるような設計手法(パッシブデザイン)を、積極的に取り入れるものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。この敷地のうちリゾートホテルの建設可能な建設用地は斜線で示した部分である。敷地内の建設用地の西側には、建設用地内に設ける駐車場以外の利用者用及び従業員用の駐車場等を設けるが、その計画はしなくてよい。
- 建設用地の北側部分と道路との高低差はなく、必要に応じて、歩道の切り開きはできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
 - 前面道路の境界線から外壁の後退距離は、6m以上とする。
 - 主要な屋根は、湖畔(南側)及び前面道路側(北側)に下り勾配屋根とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。なお、地下水について特別の配慮はしなくてよい。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。また、建設用地の造成は最小限に留めるものとする。
- 気候は温暖であり、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。なお、風環境は、夏期は南からの卓越風、中間期は北からの卓越風がある地域とする。



2. 建築物

- 構造、階数等
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。
この課題においての階の取り扱いは、建設用地の標高100mの部分に直近の階を地上1階とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、2,200㎡以上、2,600㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、バルコニー、屋外階段及び塔屋は、床面積に算入しないものとする。
- 屋外テラス及び湖畔へ行き来できる出入口を設ける。
- 要求室
下表の室は、全て計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
客室部門	ツイン	・10室(約25㎡/1室)を設ける。	計約250㎡
	4人室	・4室(約35㎡/1室)を設ける。	計約140㎡
	車いす使用者用	・2室(約35㎡/1室)を設ける。 ・車いす使用者と同伴者の2人が宿泊できるものとする。	計約70㎡
	談話スペース	・本棚、ソファ等を設ける。 ・客室に隣接させる。	約50㎡
パブリック部門	ラウンジ	・エントランスホールに隣接させる。 ・ソファ等を設ける。 ・眺望に配慮する。 ・自動販売機を設ける。	約50㎡
	レストラン	・40人程度が利用できるようにする。 ・テーブル、椅子等を設ける。 ・厨房を設ける。	適宜
	パーティールーム	・食事の提供を考慮して、レストランの厨房との動線に配慮する。 ・2室に分割して、それぞれ個別にセミナー等にも利用できるようにする。	約100㎡
	大浴場(計2室)	・男性用、女性用をそれぞれ1室設ける。 ・各浴室に脱衣所を設ける。	計約150㎡
	フィットネスジム	・ヨガ、エアロビクス、トレーニング等を行う。 ・大浴場との動線に配慮する。	約100㎡
	休憩室	・和室15畳程度とする。 ・浴室に近接する。 ・眺望に配慮する。	適宜
共用・管理部門	コーヒージョップ	・25人程度が利用できるようにする。 ・エントランスホールに隣接させる。 ・カウンター、テーブル、いす等を設ける。 ・外部からも直接アプローチできるようにする。	約50㎡
	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・1階と2階の空間の連続性を考慮した吹抜けを計画する。 ・売店コーナー(約30㎡)を設ける。	適宜
	フロント・事務室	・フロントにカウンターを設ける。 ・6人分の事務スペースを確保する。	適宜
	従業員控室	・ホテル部門の従業員用として、男性用、女性用を各1室設ける。	適宜
	守衛室	・常駐1人とする。 ・従業員出入口に隣接させる。	適宜
	リネン室		適宜
	設備スペース	・空調、給排水衛生、電気、消火設備等の「機械室」又は「設備スペース」を、屋内又は屋外に計画する。	適宜
・便所、エレベーター、通用口、倉庫及びゴミ置場については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室、什器等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 屋外テラスを、次のとおり計画する。
 - 屋外パーティーやバーベキューなどができるものとして、地上に、まとまったスペースで80㎡以上設ける。
 - テーブル、椅子等を設ける。
- 車回し(自動車を建築物のエントランス前まで導く道路をいう。)及び車寄せ(自動車を寄せて人が乗降するために、エントランス前に造られた屋根又は庇の付いた場所をいう。)を設ける。
- 建設用地内に設ける「駐車場」は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として2台分、サービス用として2台分を設ける。
- (1)~(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 敷地の周辺環境に配慮する。
 - 建築物内の空間構成においては、建設用地内の高低差を有効に活用した計画とする。
 - 北側と南側に広がる良好な景観を、眺望として積極的に取り込んだ計画とする。
 - 勾配屋根の形状を活かした室内空間となるように計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - 各部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも十分に配慮する。
 - 地盤条件を考慮した基礎構造、構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設ける。
 - 浴室の給湯設備は、熱源機器と貯湯槽からなる中央給湯方式とする。
 - 自然採光及び自然換気を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。
 なお、各図面には、必要に応じ、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 北側配置図兼 1階平面図 1/200	① 1階平面図は、建設用地の北側の配置図を兼ねるものとする。 ② 地下1階平面図は、建設用地の南側(上記①以外の部分)の配置図を兼ねるものとする。 ③ 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト(パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等 チ. 直下階の屋根、ひさし等となる部分
(2) 南側配置図兼 地下1階平面図 1/200	④ 北側配置図兼1階平面図及び南側配置図兼地下1階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口(湖畔等への出入口を含む) ロ. 屋外テラスの面積、テーブル、いす等 ハ. 車回し、車寄せ、駐車場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等
(3) 2階平面図 1/200	⑤ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ⑥ 客室については、次のものを図示する。 イ. ツイン、4人室、車いす使用者用客室それぞれについて、代表的な1室の室内プラン ロ. 各客室の出入口、設備用シャフト ハ. ツインの表示(T1~T10)、4人室の表示(F1~F4)、車いす使用者用客室の表示(C1、C2)
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、南北方向とし、エントランスホールの吹抜けを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。 なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 採用した環境負荷低減手法について、必要に応じ、簡潔な文章や矢印等により明示する。 ③ 前面道路(標高100m)からの塔屋を除く建築物の高さ(平均G.Lは求めなくてよい)、階高、天井高、地上1階及び地下1階の床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 利用者・従業員等のアプローチ及び車両動線(車回し、車寄せ、駐車場等)について考慮したこと
 - 客室の計画において、高齢者、障害者等の利用について考慮したこと
 - パブリック部門において、利用者・従業員等の動線及び要求室の配置について考慮したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - 勾配屋根の構造計画について工夫したこと
- 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 浴室の給湯設備において、採用した熱源方式と採用した理由及び熱源機器の設置場所について配慮したこと
 - 受変電設備、空調室外機の設置位置及び給水方式について工夫したこと
- 建築物の特徴(勾配屋根、吹抜け等)に対応した環境負荷低減について、配慮したことを具体的に記述する。なお、断面図等において補足してもよい。